

ワークショップ 「現場型ウナギ種判別技術の実用可能性」

近年、ウナギ属魚類の国際取引は規制の強化が進んでおり、輸出入業者などウナギを扱う事業者にとって、製品の種判別は重要な課題となっています。本ワークショップでは、カナダのバイオテクノロジーベンチャー企業 WildtechDNA 社が開発中の「現場で迅速にウナギの種を同定できる DNA 判別キット」について、開発者である Rahul Chaudhari 博士がその仕組みと利用方法を解説します。実際にキットを使用した種判別の実演のほか、技術活用に向けた意見交換も行います。違法取引抑制や誤認防止に役立つ実務向けの技術が学べる貴重な機会ですので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

講師：Rahul Chaudhari 博士（WildtechDNA 社・カナダ）

野外環境における DNA 種判別技術の第一人者。WildtechDNA 社（<https://wildtechdna.com>）は、生物多様性保全や水産資源管理を支援する革新的ツールを開発しており、現在はウナギ属魚類の迅速種判別キットの社会実装を目指しています。

参加対象：ウナギを扱う事業者・行政・メディアなど

日時：2025 年 7 月 24 日（木） 14:00-16:30

場所：中央大学 茗荷谷キャンパス 3 階 3N04 号室
〒112-8631 東京都文京区大塚 1-4-1

使用言語：英語・日本語（通訳が提供されるため、言語の障壁を感じることなく参加できます）

参加：事前申込制

参加費は無料、申込期限は 7 月 18 日（必着）です。

[申し込みはこちらから](#)

問い合わせ先

中央大学法学部 海部健三

E-mail：kkaifu001t@g.chuo-u.ac.jp